公共交通利用のススメ

身近な公共交通の活用で環境にやさしく魅力ある都市へ

外出するとき、あなたは普段何を利用して移動していますか？
徒歩、バス、電車、マイカー…。生活スタイルによってさまざまな交通手段を使い分けている人もいるかもしれません。しかし、公共交通をまったく利用したことがないという人はきっといないはず。公共交通は都市機能のひとつとしてわたしたちの生活に欠かすことはできません。
今回の特集では公共交通の重要性と交通局の取り組みなどを紹介します。
【交通政策課 216-1113、交通局 257-2111】

鹿児島市公共交通ビジョン

本市では、昨年3月に「公共交通を活かした 歩いて楽しむ緑のまち かごしま」を基本理念に、「鹿児島市公共交通ビジョン」を策定しました。これは本市が目指す、個性と魅力あふれるコンパクトな市街地を形成する集約型の都市構造の実現に向け、行政・交通事業者・市民の皆さんが一体となった取り組みを進めるための指針です。

利便性・効率性の高い持続可能な交通体系の構築
利用目的に応じて、誰もが、どこでも自由に移動できるよう、公共交通のサービス水準の向上や乗り換えの円滑化など〝わかりやすく・使いやすい〟公共交通の実現を図ります。

安全・快適で、人と環境にやさしい交通環境の整備
誰もが安全・快適に移動できる交通環境を目指し、道路や車両などのバリアフリー化など人にやさしい交通施設の整備を進めます。また、環境対策として車両などの低公害化や交通渋滞対策などを進めます。

特色ある公共交通を活かしたまちづくりの推進
個性と魅力あふれるまちづくりを進めるため、都市景観・観光資源と環境面の価値を併せ持つ路面電車やフェリーなど〝かごしま〟ならではの特色ある公共交通の有効利用を図ります。

マイカーの過度な利用は道路の渋滞や地球温暖化などの環境問題を引き起こし、生活環境の悪化をもたらします。公共交通をもっと利用して、人と環境にやさしい鹿児島市を目指しましょう。

運行しています コミュニティバス「あいばす」

公共交通不便地の解消を図るため、吉野・谷山・喜入・伊敷東部・伊敷西部・谷山北部・谷山南部・吉田・松元・郡山地域の10地域で、コミュニティバス「あいばす」を運行しています。買い物など、お出掛けにぜひご利用ください。

◇**運行日** 月～土曜日（12月31日～1月3日は運休）
◇**運　賃** 大人150円、小人80円 ※敬老・友愛パスも利用できます
◇詳しい経由地や運行時間などは**市ホームページ**（http://www.city.kagoshima.lg.jp/）をご覧ください

交通局の環境対策

取り組んでいます 地球温暖化問題

環境にやさしい路面電車

路面電車は、排気ガスを出しません。また、大量輸送ができるため、交通渋滞の緩和に大きく寄与することが期待されるなど、地球温暖化を防止する取り組みの中でも、特に注目されている乗り物です。

交通局が運行する市電は、バリアフリーに対応した超低床電車13両を含め、現在54両。市民に身近で環境にやさしい公共交通としての責務を果たしています。

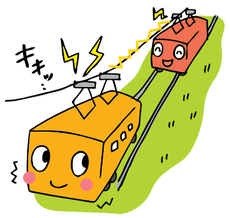
市電軌道敷緑化

現在、鹿児島駅～中洲電停交差点と高見馬場交差点～荒田八幡交差点までの約5キロメートルが緑化されている市電軌道敷は、都市景観の向上をはじめ、ヒートアイランド現象の緩和や沿線の騒音の低減にもつながっています。

平成24年度までに、道路との併用区間全線8・9キロメートル約3万平方メートルの芝生化を実施する予定です。

電気の再利用

市電を運行中、ブレーキを掛けたときに発生する電気を、ほかの車両に送電し、ほかの車両が運行する電力として再利用するシステムを22両に導入。運行時の省エネルギーに努めています。



低公害低床型バスの導入

環境負荷の軽減を図るため、平成17年度以降、排出ガス抑制や低燃費などの性能を併せ持つハイブリッドバス、CNG（圧縮天然ガス）バス、厳しい排気ガス規制をクリアしている新長期規制適合バスの導入を進めています。

現在、ハイブリッドバス15台、CNGバス7台、新長期規制適合バス8台を運行しています。

エコ運転・運行

◇**アイドリングストップ** 低燃費運行を図るため、信号待ちなどで自動的に燃料供給をストップするアイドリングストップ機能を装備したバスの導入を進めています
◇**加減速の少ない運転** 低燃費運行を図り、安全、快適に乗車してもらうため、乗務員は加減速の少ない運転を心掛けています
◇**効率的なバスの運行** 回送ロスを縮減し、燃料消費量の抑制に努めています
◇**ジャストサイズの車両の運行** 道路幅や乗客数など、路線の状況に応じて低燃費運行が可能な中小型バスを運行しています

環境にやさしい運賃制度など

◇**エコ定期券制度** 休日にマイカーで移動する家族の皆さんに公共交通を利用してもらうため、市電・市バスの通勤定期券（利用日限定通勤定期券を除く）を持つ人と一緒に乗車すると、家族の運賃が安くなる制度です
◇**ICカード乗車券「ラピカ」** 民間バス事業者と共同で、相互のバスに乗車できるICカード乗車券「ラピカ」。使い捨てではなく、積み増しをすることで何回でも利用できます

マルヤガーデンズいづろバス停側入口にラピカ自動販売積増機を増設

◇**設置場所**（8カ所） 山形屋1号館・2号館、タカプラ、ダイエー鹿児島中央店、マルヤガーデンズ、鹿児島銀行高見馬場支店、市役所、県庁

公共交通でまちの魅力再発見

観光振興にも一役かっている交通局。3月5日には、九州新幹線全線開業を前に新顔が加わります。皆さんも公共交通を利用して、わがまちの魅力を再発見する小旅行に出掛けてみませんか。

気軽に観光地を周遊 カゴシマシティビュー

カゴシマシティビューは鹿児島中央駅を出発し、市内の主な観光スポットを約1時間で周回しています。

どの停留所からも乗車でき、好きな停留所で下車できるため、好きなペースでまちめぐりを楽しめます。

◇**城山・磯コース** レトロな路面電車風バスで西郷洞窟、城山、仙巌園などを巡ります
◇**ウォーターフロントコース** 海とイルカをモチーフにしたバスでドルフィンポート、かごしま水族館などを巡ります
◇**夜景コース** ライトアップされたナポリ通りや中央公民館、市街地の夜景を一望できる城山展望所などを巡ります。同乗のガイドが案内を行います

観光電車 出発進行

九州新幹線全線開業目前の3月5日から、市民の貴重な交通手段として広く親しまれている路面電車を活用し、観光かごしまの一翼を担う「観光電車」として運行します。

観光電車にはボランティアのサポートガイド2人が乗車し、史跡などの案内を行います。

鹿児島の新しい観光をぜひ市民の皆さんもご体験ください。

◇**運行ルート** 鹿児島中央駅前→天文館通→鹿児島駅前→天文館通→高見馬場→交通局前→郡元→鹿児島中央駅前
◇**運行日** 3月5日以降の毎週土・日曜日と祝日
◇**発車時間** 鹿児島中央駅を10時20分、11時30分、13時40分、14時50分
◇**運　賃** 大人320円、小児160円（1日乗車券も利用できます）

公共交通の利用でまちがいきいき

公共交通ビジョン策定委員会委員
野口　誠さん

○もともと、まちづくりに興味があり、公共交通ビジョン策定委員会に市民公募委員として参加しました。
○公共交通を利用するとき「不便だな」という思いが先にたつと、なかなか利用につながらないもの。確かに便利さで比べるとマイカーにかなうものはありません。しかし、一人ひとりの少しの我慢が、わたしたちの住むまちに大きなプラスになります。
○地球環境のためというのはもちろんですが、わたしは、まちの魅力を高める一つの要素にもなると思っています。交通量の多いことを想定したまちは道路や駐車場だけが広々とした「車のためのまち」になり、「その地ならでは」といった魅力を感じられません。
○公共交通で中心市街地に向かい、歩いてまちを楽しむ。そうすることでにぎわいが広がり、まちとしての魅力が高まっていくことにつながるのではないでしょうか。

わがまち観光にも活躍

お得な1日乗車券

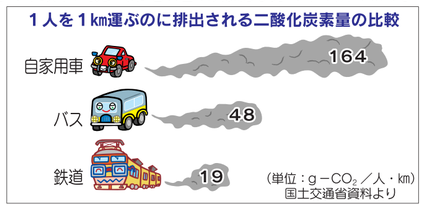
1日乗車券は、カゴシマシティビューや観光電車だけでなく市電・市バスも1日乗り放題。市内の魅力的なスポットを満喫できます。
◇**料　金** 大人600円、小児300円
【交通局 257-2111】

なぜ今、公共交通なの？

マイカーは買い物や通勤、レジャーなどにとても便利。しかしバス、電車など公共交通の利用には次のようなさまざまな利点があります。

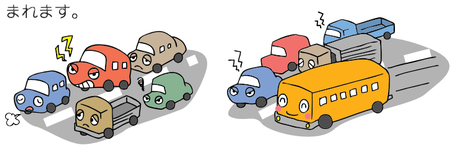
その1 環境にやさしい

マイカー（自家用車）の二酸化炭素排出量に比べ、バスは3分の1以下、鉄道（市電を含む）は約9分の1で済みます。



その2 通勤時間帯の渋滞緩和

7時30分～8時30分の通勤時間帯は1時間に約1万台の車が中心市街地に流入し、慢性的な渋滞が起こっています。マイカー通勤をやめて公共交通を利用すると渋滞の緩和が見込まれます。

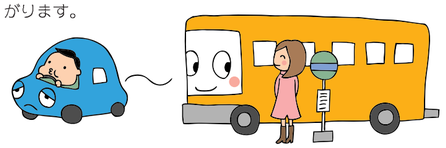


その3 交通事故のリスクが減る

多くの人がマイカー利用をやめて公共交通を利用すれば、交通量が減り交通事故の減少が期待できます。

その4 健康管理につながる

電車やバスでの通勤は、マイカー通勤のおよそ4倍のカロリーを消費するといわれています。また、マイカーを使えない人でも公共交通で外出することができ、健康増進にもつながります。



「はじむっど！ECO通勤 つづくっど！ECO通勤」
まずは毎週水曜日を「ノーマイカーデー」に

◇「鹿児島都市圏地球温暖化防止交通対策協議会」では、二酸化炭素の排出量を削減するため、マイカーから公共交通などへ通勤手段を転換する「エコ通勤」の推進に取り組んでいます
◇マイカー通勤者を対象に毎週水曜日にバス・市電の料金が半額になる「エコ通勤割引パス」を無料で発行しています
◇詳しくは**県ホームページ「バス路線」**（http://www.pref.kagoshima.jp/infra/kotu/buss/index.html）をご覧になるか、**県地球温暖化対策課286-2586**へ

海の公共交通 桜島フェリー

国内最大級のスーパーエコシップが就航間近

船舶部では現在、新桜島丸（愛称・サクラエンジェル）を建造しています。この新船は、環境にやさしく、経済的でバリアフリーに配慮した電気推進船（スーパーエコシップ）です。推進力は電気モーターで回すプロペラで、従来より燃費が向上し、二酸化炭素排出量を削減できます。

3月10日のよりみちクルーズが初就航です。鹿児島の海の新しい顔をぜひご利用ください。

いよいよ3月10日から 「よりみちクルーズ船」本格運航開始

昨年の試験運航で好評を博した「よりみちクルーズ船」の本格運航を開始します。桜島と錦江湾の魅力を海上から身近にお楽しみください。

◇**運　航** 毎日1便（鹿児島港を11時5分出港）
※12月29日～1月3日は運休
◇**運航時間** 約50分
◇**運航コース** 鹿児島港→神瀬→大正溶岩原沖→桜島港
◇**運　賃** 大人500円、小児250円、車両3～4m 1420円（運転者1人分の運賃含む）など ※回数券、定期券、敬老パス・友愛パスは利用できません。団体割引・高齢者割引などがあります
◇乗船するには鹿児島港・桜島港の窓口で乗船券を購入する必要があります ※乗船の1カ月前から購入できます（販売開始は3月1日）
◇団体旅客（15人以上）や車両での乗船は、前日までに予約が必要。ただし、当日の状況によって乗船可能なときがあります

桜島フェリー運航ダイヤの一部見直し

◇**よりみちクルーズ船の運航ダイヤ設定（増便）**
- 鹿児島港を11時5分出港

◇**一部時間帯の運航間隔見直し**
- 鹿児島港発の7時台、10時台、11時台、18時台で各1便を減便し、運航間隔を15分に変更（変更前は10分間隔）
- 桜島港発の7時台、10時台、18時台で各1便を減便し、運航間隔を15分に変更（変更前は10分間隔）

◇**ダイヤ改正日** 3月10日
◇詳しくは**桜島フェリーホームページ**（http://www.sakurajima-ferry.jp/）をご覧になるか、**船舶部293-2525**へ